

オートフィードダイカッター

KBD DigiNukky500



デジタル印刷のフィニッシングに最適な 新設計のダイカッター登場！

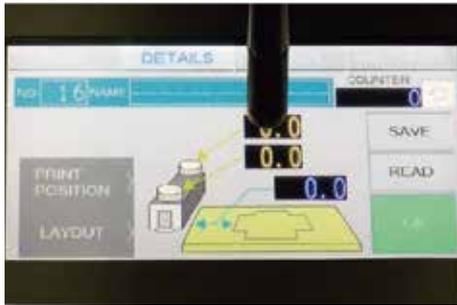
KBD DigiNukky 500は曲線のカットや特殊なクリースやミシン目などの加工を必要とするパッケージ、ユニークな形状のグリーティングカードなど人々が手に取った時に、ワクワクする気持ちを抱いてもらえるような品質の高いアプリケーションを提供できる新世代のダイカッターです。

構成と機能



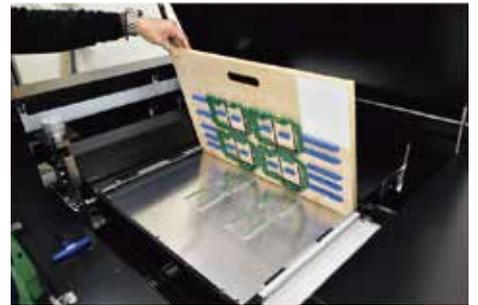
① フィードユニット

特許を取得している「Tri-suction feeder」は印刷物の給紙を安定させることができます。



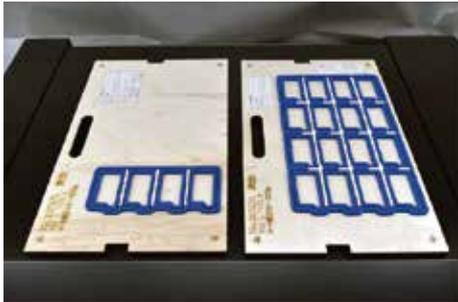
② カラータッチスクリーン

4.3インチのカラータッチスクリーンは直感的な操作でジョブ内容の変更や処理速度の調整、面付機能の設定なども簡単に行えます。



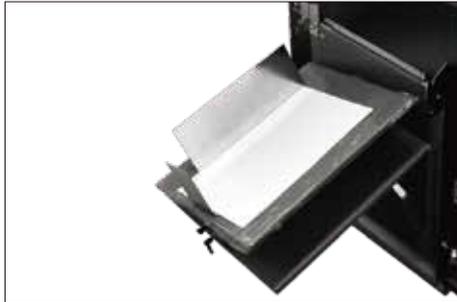
③ メインユニット (プレスユニット)

メインプレスユニット部には特許申請済みの「可動式プレスローラー」機構を採用しています。



④ 面付け機能

KBD DigiNukky 500には面付機能が搭載されています。最大面付数は5面までに対応しています。



⑤ 排紙トレイ

KBD DigiNukky 500には加工された用紙を受け取る排紙トレイが付属しています。この排紙トレイはX、Y方向に角度を調整することができます。



⑥ さまざまなアプリケーションに対応

KBD DigiNukky 500は印刷物へのカット、クリース、ミシン目や穴あけ、エンボス加工が行えます。

仕様

モデル	KBD DigiNukky500
タイプ	オートフィードプラテンダイカッター
用紙サイズ	297(幅)×420(長さ)~365(幅)×515(長さ)mm
最大仕上げサイズ	320(幅)×505(長さ)mm 最大仕上げサイズは、用紙サイズにより異なります。 ダイのデザインにより、仕上げ加工可能な領域を若干広げることができます。
用紙厚さ	120~*400gsm ※用紙の品質による
操作	4.3インチカラータッチスクリーン
素材	紙、ラミネート紙、段ボール、合成紙、フィルム(透明)など*。 ※特殊な素材は事前検証をご推奨します。
ジョブメモリー	100件まで
給紙機構	・上部ベルトトライサクショフィード(特許取得済み) ・サイドフロー ・スキュー調整 ・サイドアライナー ・超音波二重給紙検知 ・カットマーク登録 ・給紙トレイスタック容量:100mm
最大処理速度	1,000枚/時
寸法	2,615(幅)×1,070(奥行)×1,100(高さ)mm
重量	410kg
電源	AC100V (50/60Hz) 400W

※加工速度は、最適な動作条件に基づくものであり、保管条件や環境条件によって変わる可能性があります。
※当社は継続的に製品の改良を行っております。そのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

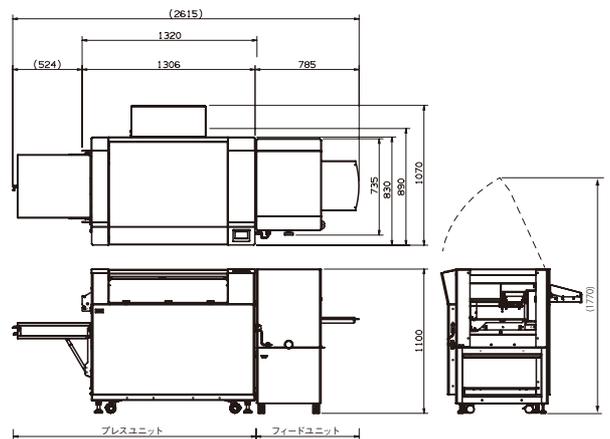
アクセサリ

ダイボードラック (付属品)	ダイボードとカッティングプレートの収納が出来ます。
カッティングプレート (消耗品)	ステンレス製・硬い材質のため繊細な刃の高さ調整が必要です。 大ロットや長期間使用する場合に適しています。
カッティングプレート (消耗品)	アルミ製・柔らかい材質のため、ステンレス製に比べる調整はやり易いです。 小ロットや短期間の使用に適しています。



ダイボードラック

寸法 (単位: mm)



総販売元

印刷機材の総合商社
株式会社 光文堂

本店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社 / 東京 支店 / 東北・静岡・金沢・大阪・北九州・福岡 営業所 / 北海道
青森・山形・千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄

<http://www.kobundo.co.jp>

販売会社

